

事業所防災リーダー通信 vol.24

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。

事業所防災リーダーへのご登録、ありがとうございました！

東京都防災リーダー事務局からのお知らせです。

本メールは、事業所防災リーダーとして登録された際のメールアドレスにお送りしています。

<< 事業所防災リーダー必携②④ >>

◆発災時の「従業員の参集」について考えてみましょう

夜間・休日に発災した場合など、災害対応や事業継続のために、従業員を参集させることになっている企業等が多いのではないのでしょうか。
一方で、特に参集場所が被災地になった場合は、従業員が参集することによって危険な場所に近づくことになる、ということをよく理解しておく必要があります。

【「参集」を考えるポイント】

- 従業員が参集しないと（ある程度の人数が集まらないと）できない災害対応業務を設定していませんか？思うように人が集まらなくても最低限実施すべき優先業務は何なのか、平時のうちに絞り込んでおきましょう。
- 自宅から参集場所まで徒歩で数時間かかる場合は、参集するだけで従業員は疲労困憊します。参集場所に到着した時点で従業員の健康管理がまず必要です。そのまますぐに業務に当たらず、必ず休憩と体調管理をさせましょう。
- 発災直後に一斉に従業員を参集させて全員で業務に当たると、交代要員がいなくなります。自宅が参集場所まで距離がある人は交通機関が復旧してから交代に出てくるなど、工夫をしましょう。

発災直後～

限られたヒト・モノで、絶対に継続すべき事業だけを守り切りましょう



◆従業員が「守られている」と思える災害対応を

発災時は、通常よりも困難な業務が増え、従業員に負担がかかりがちです。災害対応や事業継続を前向きに乗り切るためには、どんなに忙しくても「組織は従業員のことを考えてくれている／安全を守ってくれている」と従業員が感じる事が重要です。

災害時には「ヒト」に対する安全確保とねぎらう気持ちを忘れずに！